

II. 一般社団法人 日本工作機械工業会の活動

1. 概 要

(1) 定時総会

2019年5月31日(金)、東京都千代田区のホテルニューオータニに於いて、第8回定時総会を開催し、会員103社中99社(書面または代理人による議決の決議の行使を含む)が出席した。同総会では、飯村会長が議長となり、2018年度事業報告、同年度収支決算、2019年度事業計画案、同年度会費負担案、同年度収支予算案、役員選任について審議を行い、原案通り決議した。

総会終了後、同所において、名古屋工業大学情報工学専攻・竹内一郎教授による「データ駆動型人工知能とものづくりへの活用」と題する講演会を開催した。

(2) 理事会

当会の事業執行機関である理事会は、理事会運営の原則に基づき、5月に決算理事会、7月、9月、11月に定例理事会、3月に予算理事会(書面審議)にて、事業報告案及び収支予算案、決算報告を始め、平成32年度税制改正要望、新規入会等について審議した。更に、定時総会当日には総会に引き続いて第43回理事会を開催し、定款第13条に基づき、会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定を行ったほか、委員会構成について審議した。

(3) 委員会・研究会

各事業の遂行については、総合企画、技術、経営、市場調査、国際、環境安全、見本市、輸出管理の8常設委員会及び人材確保・周知研究会、加工システム研究開発機構が、それぞれ所管する事業を以下の通り実施した。

① 総合企画委員会

新規入会について審議し、その結果を理事会に上程したほか、2019年度会員懇談会を金沢市で開催した。

② 技術委員会

研究開発部会、標準化部会が中心となり、「三次元積層造形技術(Additive Manufacturing)に関する調査研究」、「知的財産に関する調査研究」、IMEC2020(第19回国際工作機械技術者会議)の企画・立案、「スマートマニュファクチャリングに関する対応」等、工作機械の技術振興に関する調査研究を幅広く実施した。

③ 経営委員会

経営調査関連では、工作機械工業の各種経営指標を作成・分析し、「工作機械工業経営

状況調査」・「工作機械工業収益状況集計」として公表した。また、工作機械業界の経営特性を明らかにするため、国内他業種との比較調査(2018年版)をとりまとめ、公表した。さらに、近年話題となっているESGやSDGsに関する業界としての取組について経営委員企業の進捗状況等についてもアンケートを実施し、取りまとめを行った。

税制関連では、「第4次産業革命を強力に促進するための設備投資促進税制の創設」、減価償却資産に係る固定資産税の見直しを含む「減価償却制度に係わる最重点要望項目」の2項目を最重点要望項目とする「令和2年度税制改正要望書(案)」を取りまとめ、理事会に上程した。

労務研究関連では、「2019年度春季賃上げ・夏季/冬季一時金妥結状況」、「2018年度工作機械部門の新規・中途採用従業員数」、「工作機械製造業における従業員構成」について調査した。

④ 市場調査委員会

政策関連では、税制改正以外の政府予算措置等に関する要望をとりまとめた他、「適正な下請取引の推進と取引先の生産性・付加価値向上を支援するための自主行動計画」の対応状況についてフォローアップ調査を行った。

サービス関連では、2019年6月に名古屋市(インターモールド2019)及び9月に広島県福山市(2019福山どてらい市)にて、工作機械ユーザー等を対象とするメンテナンス講習会を開催した他、11月にサービス部会委員会社等を対象に、サービスエンジニア共通教育講座をトライアル開催した。

⑤ 国際委員会

インドを軸に、東南アジアで成長が期待される主要産業をテーマとして、同地域に積極展開している工作機械関連企業を対象とした市況ヒヤリング及び工場見学、この分野に精通した専門家による講演等を通じて、日本製工作機械への潜在的ニーズを把握・分析した。

また、日EU・EPA及びTPP11について、企業内での対応事例を調査した。

⑥ 環境安全委員会

「工作機械産業の環境自主行動計画」の省エネ目標達成に向け、環境活動マニュアルのデータベース化、会員企業の環境活動状況に関するアンケートの実施等、会員の環境活動を支援した。また、省エネ推進に加え、労働安全衛生の取り組みとして、「労働安全」をテーマとした講演会を開催するなど、会員企業の環境・安全活動の啓発に努めた。

⑦ 見本市委員会

JIMTOF・Tokyo 2020開催に向けて、開催基本方針の策定、出展申込要領の決定、出展小間申込受付、小間数調整等の諸準備を行った。また、従前同様に企画部会を設置し、企画展示や講演会等の併催行事につき検討した。

⑧ 輸出管理委員会

工作機械の輸出管理の在り方に関する要望等について経済産業省と連携・協議を図った。また、「工作機械の輸出管理講習会」を東京、名古屋、大阪、金沢、岡山の5都市で開催し、工作機械の輸出管理制度の仕組みや、同制度に基づく社内審査の在り方について説明し、輸出管理に関する業界内の理解向上に努めた。更に、工作機械の輸出実務者向けの輸出管理研修会を東京、名古屋で開催し、貨物の輸出後や海外への技術提供後の輸出管理上の注意点について解説した。

⑨ 人材確保・周知研究会

次世代の工作機械産業を担う優秀な人材の確保・育成のために必要な業界活動等を検討する人材確保・周知研究会では、工作機械トップセミナーや工作機械基礎講座の企画・立案を行い、所要の事業を積極的に実施し、学生に対する業界PRや若手エンジニアの育成に努めた。

なお、今年度の工作機械トップセミナーは、MECT2019会期中に実施し、全国の大学、高専から43校、350名の参加者を得た。

⑩ 加工システム研究開発機構

「工作機械産業ビジョン2020」のフォローアップとして、「新構造材料適用省エネ型工作機械研究開発」及び「工作精度試験方法通則の国際標準化」、「国際交流イニシアティブ」に関する事業を実施した。

(4) その他

① 委託事業

- (イ) JIS原案作成事業（(一財)日本規格協会）
- (ロ) 日本における国際会議開催事業（(一財)日本規格協会）
- (ハ) 国際幹事等国際会議派遣事業（株三菱総合研究所）

② 補助事業

- (イ) 工作機械トップセミナーの開催（(公財)JKA）
- (ロ) 輸出管理講習会の開催（(公財)JKA）

③ 国際交流

下記展示会等で海外工業会と会合を行い、友好増進及びJIMTOFへの来場誘致に努めた。

- (イ) CIMT 2019（2019年4月・中国・北京市）
- (ロ) METALLOBRABOTKA 2019（2019年5月・ロシア・モスクワ市）
- (ハ) 2019年日韓工作機械工業会協議会（2019年6月・札幌市）
- (ニ) EMO Hannover 2019（2019年9月・ドイツ・ハノーバー市）
- (ホ) CMTS 2019（2019年9月・カナダ）

④ 広報活動

月例記者会見を実施した。また、下記出版物を発行したほか、メールマガジンの配信等、広報活動に努めた。

- (イ) 機関誌「工作機械」
- (ロ) マシンツールワールド
- (ハ) 日本の工作機械産業（和・英）
- (ニ) 工作機械統計要覧
- (ホ) その他出版物

⑤ 会員相互の親睦強化

主として下記行事を開催した。

- (イ) 第60回野球大会（2019年8月1日(木)、2日(金)・東京都）
- (ロ) 会員懇談会（2019年11月7日(木)、8日(金)・石川県金沢市・小松市）
- (ハ) 2020年新年賀詞交歓会（2020年1月9日(木)）
- (ニ) 日工会ゴルフ会

2019年5月11日(土)・愛知県/中京ゴルフクラブ石野コース

6月1日(土)・静岡県/ファイブハンドレッドクラブ

7月26日(金)・滋賀県/琵琶湖カントリー倶楽部

9月28日(土)・愛知県/中京ゴルフクラブ石野コース

11月15日(金)・静岡県/ファイブハンドレッドクラブ

2020年3月20日(金)・滋賀県/琵琶湖カントリー倶楽部（中止）

⑥ 税制・補助金に関する証明書発行業務

中小企業経営強化法の経営力工場設備及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書発行業務を行った。

⑦ 創立70周年記念事業

- (イ) 70周年誌企画・編纂会議 第1回会議を開催（2019年11月20日・東京）
- (ロ) 工作機械産業ビジョン2020検討会議 第1回会議を開催（2020年2月13日・東京）

⑧ 通商問題への対応

中国商務部によるアンチダンピング調査問題への対応として、評論意見・除外申請と製品の範囲に関する意見を業界団体として意見書にとりまとめ当局へ提出した。